

老化現象？病気のサイン？

飛蚊症 (ひぶんしょう)

目の前(視野)を、蚊のような小さな虫が飛んでいるように見える症状を「飛蚊症」といいます。見える形は、蚊に例えられるような点状のほか、糸くず状、リング状などさまざま。「何か変な影が見える」というのが最初に感じる症状です。

飛蚊症の場合、この影が視野の動きとともに移動し、瞬きをしても消えないのが特徴です。また、明るい場所で自覚しやすく、青空や白っぽい壁などをぼんやりと見ているときに、気付くことが多いようです。大抵の場合は、左右どちらかの目に起こります。

飛蚊症は、目の内部の「硝子体」に生じる濁りが原因で起こります。硝子体には細かいコラーゲン繊維が均一に含まれ、その周りを取り囲むように、水分を吸着するヒアルロン酸が存在しています。硝子体内が不均一になると、濁りが生じます。この濁りが網膜に映ると、飛蚊症を自覚するのです。

●生理的飛蚊症

硝子体の加齢変化(老化)に伴って起こります。50〜60歳代くらいから増えてきます。発症には、年齢のほか、目の大きさやコラーゲン繊維の質といった遺伝的な素質も関係します。加齢によって硝子体の液化が進むと「後部硝子体剥離」という状態になります。70歳代では6〜7割の人に認められると言われます。



●病気が原因の飛蚊症

生理的飛蚊症の場合、見える影の形や数はほとんど変化しません。これに対して、急に影の数が増えるなど症状が悪化する場合は、病気が原因となる場合があります。後部硝子体剥離に伴って突然飛蚊症が起きた場合は、**網膜剥離**の前兆の可能性もあります。網膜剥離は進行すると失明の危険性がある病気ですが、現在は治療技術が進み、網膜裂孔の段階や、剥離が起きたとしても早期に進行を食い止める手術をすれば、失明することはほとんどなくなっています。

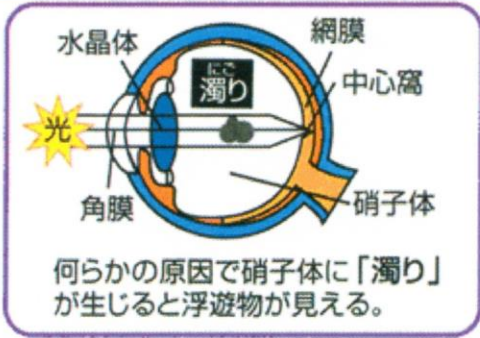
★50歳を過ぎたら見え方の自己チェックをしよう★

目のトラブルが増えてくる50歳を過ぎたら、1ヶ月に1回程度、自分で見え方のチェックを行いましう。

近視や老眼のある人は眼鏡をかけて、必ず片方の目だけで見てチェックして下さい。飛蚊症の場合は、青空や白っぽい壁などを背景にすると見つけやすくなります。

- ①物がゆがんで見えないか
 - ②視力が低下していないか
 - ③視野に見えない部分(視野欠損)はないか
- などを調べて、異常があれば早めに眼科を受診しましょう。

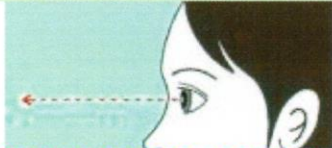
どんなふうに見えるの？
～一般的な飛蚊症の見え方～



さまざまな形や大きさの影が浮かんだり、舞ったりしているように見える。影は1つだけの場合もあれば、複数の場合もある。視野を変えると、影も一緒についてくる。

●飛蚊症を自覚したら

飛蚊症の多くは生理的なものですが、その見え方で生理的なものか、網膜剥離などの病気によるものかを自分で判断することはできません。初めて飛蚊症を自覚した場合は、眼科で視力検査や眼底検査などを受けて、病的なものではないかどうかを調べてもらうことが大切です。検査の結果、生理的飛蚊症と診断された場合はひとまず安心ですが、後部硝子体剥離の場合、数週間から数ヶ月かけて徐々に進むので、しばらくしてから網膜剥離が起こることもあります。飛蚊症の見え方が変化した場合や、光視症、視野の欠損やゆがみ、視力の低下など他の症状が現れた場合は、できるだけ早く再受診することが大切です。どちらかの目に何らかの異変が起きていても、普段は両目で見ているので気付かないことも少なくありません。目の異常を見逃さないためには、普段から見え方に変化がないかどうかをチェックすることも必要です。



☆☆☆施術所インフォメーション☆☆☆

当院は、マッサージやはり、骨盤背骨矯正、電気治療を多く取り入れています。ねん挫や肉離れも得意としています。骨折や脱臼については応急処置の後、病院を紹介し医師の同意のもと治療を行います。肩や指、あご、膝蓋骨(膝の皿)の脱臼、小児肘内障(手を引っ張ってはずれたもの)については当院で整復可能です。

今月のスタッフのつぶやき

接骨院 孝心

検索

<http://kousin-hamamatsu.com>

私は、病院と接骨院・鍼灸マッサージ院が連携することが患者様ためにもなり医療費の削減にもつながると考えています。重大な病気や症状は速やかに病院を紹介し、軽度の症状や重度の症状でも回復期の段階になったら接骨院・鍼灸マッサージに戻り治療を受けるのが望ましいと考えています。



厳しい冬の寒さも終わり、少しずつ暖かくなり体を動かしやすくなってきました。冬の間、怠けていたウォーキングをそろそろ始めようと思います。夏には同窓会もあるので、それを目標に体型を整えていきたいです。
(^^♪



(理枝)

一番下の娘が小学校に入学します。あっという間に大きくなってしまいうように少し寂しい気もしますが、本人は「早く大きくなりたい！」と言っています。



(真由美)

むちうち症（交通事故）、首や肩腰・膝の痛み、スポーツ障害、ねんざ、打撲、肉ばなれ、肩コリなどお気軽にご相談ください。

接骨院 孝心

検索

NPO法人 東洋医学推進協会

接骨院 孝心

マッサージ・はり・きゅう院併設

TEL 053 (451) 4523

交通事故（自賠償）・健康保険

〒432-8023

浜松市中区鴨江1-37-17

